

# 消費生活

## 「捨てればゴミ活かせば資源」

### あなたの善意が十二万九千円余に

資源ゴミのリサイクル運動として、

七月は紙類・八月はビン類及びその他の

回収を実施した結果、みなさんの温かい善意が大きく実を結び、わずかに二回の回収だけで、十二万九千七百七円に

も異なり、一人一人の善意が結集すれば大きな成果が得られました。

7月	紙類	22t 170kg	89,720円
8月	ビン類	約 5,200本	3t 790kg
	金属類	1t 650kg	39,397円
	その他	約 5,200本	129,117円
合計	紙類・その他	27t 610kg	延12台
	ビン類	約 5,200本	延6台
	金属類	129,117円	延16台
	2t車		
	4t車		
	人員		延50人

源・省エネルギーとなり、環境保全、地域住民にとり自然の回復につながります。教育的効果、物を大切に育成に役立つ。育成に役立つ。育成に役立つ。

黒崎町では、「捨てればゴミ、活かせば資源」をスローガンに、これからの運動に対し、真剣に取り組む所存です。

皆さん一人一人の、ご理解とご協力が大切です。よろしくお願ひいたします。最後に協力して下さいました。黒崎中学校・婦人会・自治会・消費生活協力員及び浅妻商店・五十嵐商店の皆さんに対し紙上を通じ、厚くお礼申し上げます。



空ビンも、またたく間に満配に……

消費生活行政の一環として左記により映画を上映いたします。

日時 十月十五日(水)午後一時三十分  
中央公民館(役場隣)

日時 十月十七日(水)午後一時三十分  
山田公民館

日時 十月十八日(木)午後一時三十分  
山田公民館

日時 十月十八日(木)午後二時三十分  
山田公民館

何かを若い世代とともに考える。(文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞。日本産業映画奨励賞。中央児童福祉審議会推薦) 十月十八日(木)午後一時三十分から山田公民館において上映いたします。

消費生活 講演会開催

消費生活行政では、貯蓄の推進運動を行っておりますが、その一環として左記により講演会を開催いたします。皆さんの日常生活に關連の深いお話ですので、ぜひおいで下さい。

日時 十月十八日午後二時三十分  
山田公民館

場所 山田公民館

講演内容 これからの暮らし(生活設計)

上手な貯蓄方法

講演者 大橋和子(日本銀行) (当日一時三十分より映画を上映します)

## 移動消費生活センター開設

移動消費生活センターは、消費生活相談・苦情の処理(商品テスト)

## 消防ポンプ操法

### 黒崎消防署が県下一に

八月十九日 新発田市本丸中学校建設予定地で、消防署、団のポンプ操法競技大会で、西蒲原郡を代表して、本町消防署が出場、見事優勝の栄冠を手中にしました。今大会には、県下から予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法十二チーム、小型ポンプ車操法十六チームの計二十八チームが出場して行われ、本町は消防署の部のポンプ操法に出場、迅速性、安全性、確實性を競い合い、炎天下で汗だくになりながら、けん命にガンバリ、消防署設置以来、初めて優勝の栄に輝きました。

八月十一日には、度胸をつけるため総合体育館広場で、多くの観覧者の見守る中で、模倣演習を行うなど、ハツラツとした訓練ぶりを披露し、観覧者からその規律正しい操法に万雷の拍手がおこられ、その成果が、記念すべき第三十回大会に最高の結果となって現れたものと思われま。

出場選手は次のとおりです。

○佐藤功二○宗村 稔○入山義秋 ○那須野均○鈴木木村裕○逢坂茂秋 ○鷲尾義孝

## 西蒲原土地改良区黒崎支所

### 副所長に 長谷川権六さんが

長谷川氏は、(株)武田源助氏の後任として選任されたもので、すでに昭和二十六年から、西蒲原土地改良区新堀江出張所の審議委員をつとめられた経験豊富な方、現在は黒崎支所共通委員、同総代、広域関連農道小平方地区推進協議会長、北陸高速自動車道、新幹線対策委員、大字鳥原新田自治会長などを兼務しておられます。



## 木場八割子ども会

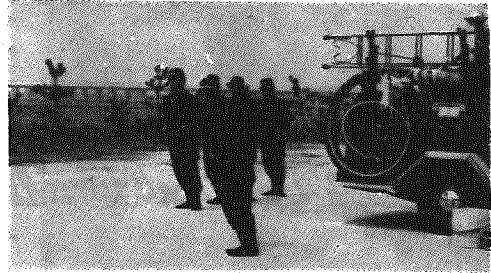
九月三日(木場八幡宮秋季大祭の夜祭)のゆぐれに、木場八割の子ども会が企画して、みこしまつりを行いました。

交通安全、学業成就を祈願した御神燈、一・二・三年のかわいい「くるまみこし」、四・五・六年の「999銀河鉄道みこし」などの「みこし行列」は、「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声もかわいらしく、八割地内を練り歩きました。

ハッピー仕度でみこしを担ぐ子ども達の姿に、おじいさん、おばあさん、それにまつりに招かれていた親戚の方々から「がんばれよ」の応援がとびかき、見物していた小さな子どもも途中から、待ちきれずみこしに加わり、お兄さん、お姉さんと共に「ワッショイ、ワッショイ」とニコニコ顔で、

観客の人氣も良く、参加した子どもたちはもちろん、両親からもたいへん好評だったようでした。来年はどんなみこしが登場するやら……。

木場八割育成会会長 大谷一男



▲本番を前に総合体育館広場で、実演習

## 八月の短歌 短歌会

朝顔の手を揺るが如揺れており支えをこえて暮れれば 青木 留吉  
丹精に育てし菊をいたわりつ支柱立てんと一 枝傷をう 松沢 虎男  
松柏緑こき辺にあざやか空百目紅今日咲き初めにけり 柏 直樹地  
残葉で帰る道々子供らの花火上げるか火薬のにおいす 阿部 淳子  
炎熱の日中を蟬の鳴く庭に夜はこおろぎの音が聞こえる 泉井 三子  
乙女子の水難の歌に纏はさして祈りをこめて今日も仰げり 小出美喜子  
一日一夜寒雨は続き津中の真流は流れに葉を泳がせり 酒井 庄平

ミラー二基を寄贈  
町民謡愛好会(代表、田中ヨミ) 三万八千五百五十円を、社会福祉協議会へ寄附



▲ワッショイ、ワッショイとかけ声も勇ましく。